

代表者名	片谷 博 光	所 管 部 課 名	農林水産部 秋田スギ振興課
所 在 地	能代市宇海詠坂 1 1 番地の 1	設 立 年 月 日	平成 4 年 9 月 1 7 日

【沿革、及び、県の出捐理由】

木材高度加工研究所の研究成果を、木材業界へ円滑に移転するための機関として、秋田県、能代市、秋田県木材産業協同組合連合会の三者の出捐により平成 4 年 9 月 1 7 日設立。平成 7 年 4 月研究所設置時に、研究所内に併設。

【出捐者】(13年度末) (百万円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	300	50.0
市町村	2	151	25.2
その他	230	149	24.8
計	233	600	100.0

【事業】

主たる業務

1. 情報提供・技術研修事業
2. 技術指導・技術移転事業
3. 各種性能試験

事業実績 (件)

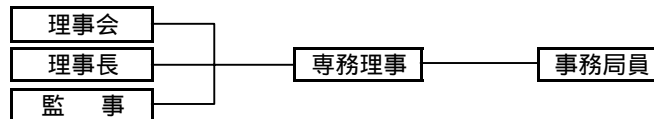
事業名等	11年度	12年度	13年度
技術相談件数	69	109	96
コカ外巡回指導	18	23	15
各種性能試験	15	27	39

13年度事業概要、及び、14年度事業計画・目標

1. 平成 13 年度事業概要
 - ・情報紙「木材加工最前線」4 回(800部)発行
 - ・各種研修会 5 回開催
 - ・技術相談 96 件
 - ・性能試験 39 件
 - ・研究課題支援受入 7 件
2. 平成 14 年度事業計画
 - ・秋田スギの効率的な乾燥技術の習得を目指した、人工乾燥技術研修会等の実施

【組織】

運営機構



役員数 (人)

	理 事	監 事
常勤	1	
内、県職員	1	
非常勤	15	2
内、県OB		
内、県職員	2	
計	16	2
内、県関係者	3	

職員数 (人)

	正職員	平均年齢
内、県OB		
出向職員	4	- 歳
内、県職員	2	
臨時・嘱託	1	正職員
内、県OB		平均勤続年数
計	5	- 年
内、県関係者	2	

【財務】

損益状況(13年度) (百万円)

	金 額
経常収入 A	23
受託事業収入	
補助金収入	7
自主事業収入	2
運用益収入	9
その他	5
経常支出 B	25
人件費	6
その他	19
経常損益 C = A - B	-2
経常外収入	1
経常外支出	
当期損益	-1

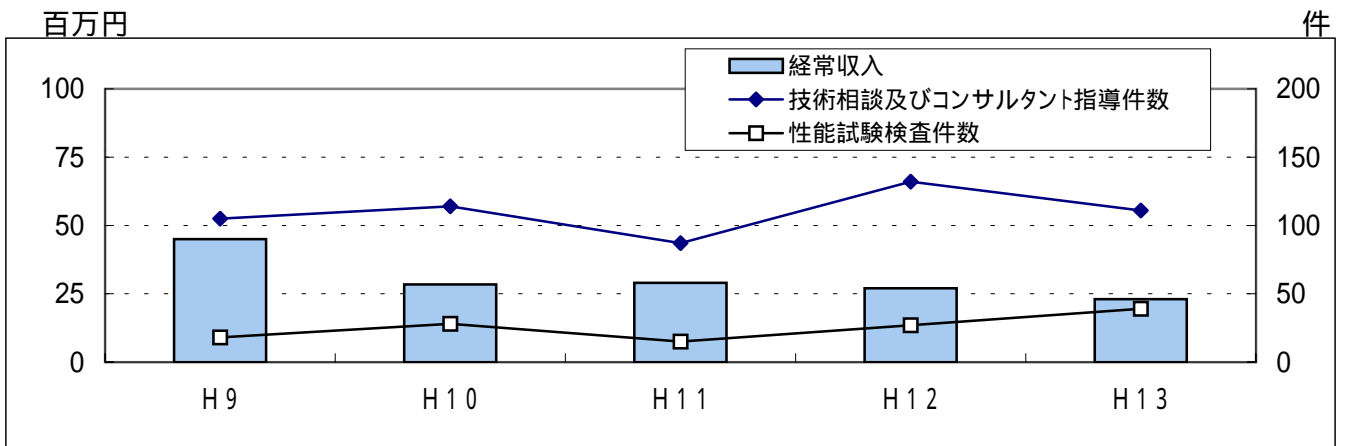
財務状況(13年度末) (百万円、%)

	金 額	構 成 比
流動資産	21	3.2
固定資産	620	96.8
資産計	641	100.0
流動負債		
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
引当金等		
負債計		
基本金	600	93.6
剰余金	41	6.4
資本計	641	100.0
負債・資本計	641	100.0

【県の財政支出】 (千円)

	11年度	12年度	13年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	7,669	7,421	6,915	木材産業体質強化推進指導事業、木材新技術実用化促進事業
委託費				
貸付残高				

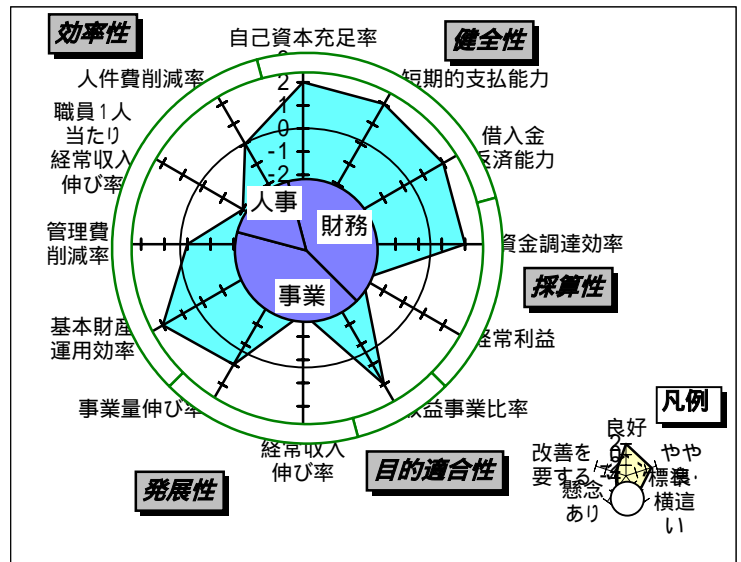
【事業等の推移】(過去5年度)



【諸比率等】(13年度)

自己資本比率	99.99 %
流動比率	31,797.06 %
借入金返済年数	- 年
支払利息比率	- %
経常利益率	-8.47 %
収益事業比率	0.00 %
経常収入額	23,906 千円
事業量(技術相談・コンサル件数)	111 件
基本財産運用効率	1.53 %
管理費比率	33.80 %
職員1人当り経常収入額	4,781 千円
人件費比率	25.03 %

【各評価項目レーダーチャート】



【経営概況、経営上の課題・問題点等】

- ・低金利が続いており、基本財産運用による財源確保が厳しい状況になっていることから、低コストで効率的な事業実施に努める。
- ・木材高度加工研究所開所から7年目を迎え、研究成果を企業へ移転させる「技術移転」が推進機構の重要な課題となっている。平成12年度の「スギ樹皮ボード」の実証試験、13年度の「円筒LVL実用化」のための支援事業を実施した。平成14年度は、引き続きそれらの総合利用普及を図り、需要拡大のための支援を行う。
- ・秋田スギの効率的な乾燥技術の習得を目指した人工乾燥技術研修会等を実施する。

【経営評価】

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
産学官連携の一層の推進のため、法人の役割の明確化が必要である。	